

い

市川は  
三大花火  
夏の宴

ほ

ほうとうは  
信玄あみだす  
陣中食

り

リフレッシュ  
南部のお茶で  
一休み

わ

和紙の里  
中富・西島  
甲斐錦霞

ろ

六斎市  
地元作家の  
クラフト市

へ

僻地より  
上流文化の  
花が咲く

ぬ

主・ガラス  
多様に変化  
技・匠

か

鯉沢  
雨畑硯の  
磨り心地

は

白鳳の  
恋むらさきの  
山葡萄

と

土地素材  
夢紙工房  
和紙造形

る

累々と  
礫の川原の  
暴れ川

よ

よみがえる  
金文・甲骨  
篆刻に

に

日本一  
はんこ作りの  
六郷町

ち

知・敬・馴  
風土に馴染む  
まちづくり

を

緒についた  
富士川文化  
花開く

た

立ち並ぶ  
喜怒哀楽の  
句碑の里